

子どもを生活習慣病にしないために



# 食育について考える



と き 11月12日 (土) 13:30~15:30

ところ 岡山市勤労者福祉センター4階

内 容 ■岡山の子どもの食の現状について  
(報告) ○学校給食の現場から ○保育園の現場から  
○保護者の立場から

■学習会 講演「子どもの食育」

講師 北川博敏さん (香川短期大学名誉学長)

北川博敏さん (略歴)

1931年兵庫県宍粟市生まれ、京都大学大学院農学研究科博士課程卒。フルブライト留学生としてイリノイ大学留学。香川大学農学部を定年後、香川短期大学学長、現在は名誉学長、かがわ農産物流通消費推進協議会会長、香川県食育推進会議会長、著書「グルメの哲学」(美功社)「日本は減ぶ=小中学生の三割が生活習慣病」(美功社)「子どもを生活習慣病にしない食卓」(主婦の友社)

香川県での小学生、中学生の血液検査の結果、高脂血症、肝機能異常、肥満など、生活習慣病の疑いをもつ子どもたちや、その予備軍が多数発見されました。

北川先生は、子どもたちの食事に脂っこい食事が増えたこと等が原因であり、もっと野菜や果物、良質蛋白質をとることが大切であり、食生活を改善していくと、明らかに数値が回復、改善していくと語られます。

また、先生は、新聞への連載や、本の出版をとおして、子どもの生活習慣病対策を急ぐ必要があることを伝え続けておられます。食の問題は、経済的・精神的な貧困の問題との関わりも考えられます。

「食」の心をどう子どもたちに伝えていくか、ともに学びを深めましょう。

## 参加 無料

主催 義務教育完全無償化をめざす市民会議

連絡先 岡山生活と健康を守る会 TEL(086)273-3012